

琴浦町教育委員会会議録

日時 平成22年 5月27日(火) 午後1時30分～午後5時45分
場所 琴浦町生涯学習センター第1会議室
出席委員 小谷恵造委員長、谷口正委員、進 修委員、石前富久美委員、
永田 武教育長

その他出席者 生田教育総務課長、藤村社会教育課長、田中人権・同和教育課長
原田学校給食センター所長、岡本指導主事、谷本教育総務課補佐

議事日程

- 日程第1 議事録署名委員の指名について
- 日程第2 報告事項 教育長報告
- 日程第3 議案第28号 平成21年度補正予算(第9号)について
- 日程第4 議案第29号 平成22年度補正予算(第1号)について
- 日程第5 議案第30号 平成22年度琴浦町林原育英奨学金の貸与者決定
について
- 日程第6 議案第31号 平成22年度要保護・準要保護児童生徒の追加認定
について
- 日程第7 議案第32号 平成22年度小学校児童、中学校生徒、幼稚園児
及び児童生徒の給食費の額の決定について
- 日程第8 協議事項
- ・平成22年度教育関係要覧について
 - ・教育行政評価の重点項目について
 - ・小学校適正規模・配置審議会の答申について

- 開会
- 日程第1 議事録署名委員の指名について
- 進委員と石前委員さんです。

日程第2 教育長の報告

- ① 5月15日赤碕中学校運動会があり、天気がよく盛大に行われました。
 - ② 5月15日～16日に琴浦町長杯争奪卓球大会が総合体育館で開催され、町内外から団体69チーム、個人戦190名の参加がありました。成績については一覧表をご覧ください。
 - ③ 5月20日～21日全国町村教育長大会の総会が東京で行われました。その時の内容は別紙資料をご覧ください。
 - ④ 5月22日古布庄小学校と赤碕小学校で運動会がありました。この日も天気がよく盛大に行われました。
 - ⑤ 5月23日に以西小学校の大父分校の跡地で、記念碑の建立除幕式と祝賀会がありました。この分校は昭和38年に閉校になっていますが、この時おられた倉吉の瀧山先生口癖の「念ずれば花ひらく」という言葉が刻まれています。またこの建立で寄付を募られ、以西小学校図書館へも30万円寄付されました。
 - ⑥ 5月24日学校給食運営審議会がありました。本年度の給食費等について意見を伺ったところです。今日の委員会で決定し、6月4日の理事会、総会に諮ります。
 - ⑦ 5月26日臨時議会がありました。その後に全員協議会があり、この中で、小学校の答申について、教育委員会はどうしていくのかということがありまして、後ほど報告させていただきたいと思えます。また、保育園と幼稚園の在り方については、答申どおり八橋保育園と八橋幼稚園を統合し、認定子ども園として整備していくという方向で保護者説明会等開催している旨報告がありました。
 - ⑧ 5月26日に寿大学の開校式が約300人出席され行われました。
- 今後の日程
- ① 5月29日浦安小学校、東伯小学校、八橋小学校、成美小学校の4小学校で運動会があります。
 - ② 6月14日～21日まで町議会があります。教育委員会関係の質問は4本3人からありまして、1つは自殺防止対策について基本的には健康福祉課ですが、当方は児童・生徒の対策等の答弁を考えています。2つ目に小学校の統廃合についてと幼稚園の統廃合について

て、3つ目は平和教育についての質問があります。

- ③ 6月議会が終了後に計画訪問を予定しています。以前にもお話ししましたように、今回は議員さんから参加したい旨の申し出もありましたので了承し、日程等をお知らせします。
- ④ 6月24日に東伯地区教育委員会連絡協議会の総会がこの会場にあります、ご参加をお願いします。
- ⑤ 小学校の教科書採択年にあたっています。採択教科書がきていますので、委員さんも目を通していただけたらと思います。

以上です。

- 報告に対する質問はありますか。
- 寄付はどのような方がされたのか。
- 瀧山先生を始め、卒業生や地元の方でないかと思えます。

日程第3

議案第28号の説明

- 平成21年度補正予算(第9号)について、本委員会の意見を求める。
- これは専決の補正で、事業概要により説明。
- 事業概要により説明。
- 事業概要により説明。
- 何か質問はありますか。
- 人権に係る町民意識調査はいつ頃まとまりますか。
- 目安としては10月頃までには出したいと思っています。
- これはあらゆる差別をなくする実施計画の23年～5年間の計画の基礎データにしたいと思っています。
- 養鶏団地の発掘調査はどのような可能性があるんですか。
- これは米久が計画しているもので、三保地区の農協土地で以前農協が建てる時にした試掘調査で出ています。遺跡が出る可能性があると思えます。
-

日程第4

議案第29号の説明

- 平成22年度補正予算(第1号)について、本委員会の意見を求める。
- 事業概要により説明。
- 事業概要により説明。
- 事業概要により説明。
- 事業概要により説明。
- 何か質問はありますか。
- 部活動の外部指導者はどこからこられますか。

- これは町内の方で、専門の方をお願いしています。
- 中学校プールは25mですか。
- 学校とも協議して25mで計画しています。
- 学力調査の採点業者は、どのようなところがありますか。
- これは全国調査の採点をやっている業者です。

日程第5 議案第30号の説明

- 平成22年度琴浦町林原育英奨学基金の貸与者決定につき、本委員会
の意見を求める。
- 今年度別紙一覧表のとおり3名の申し込みがありました。
- 何か質問はありますか。
- 償還のほうはどうですか。
- 遅れが1名ありますが、少しずつでも入っています。

日程第6 議案第31号の説明

- 平成22年度要保護・準要保護児童生徒の追加認定について、本委員
会の承認を求める。
- 別紙申請書により説明。
- 何か質問はありますか。
- 承認していいでしょうか。(全員賛同)
- 議案第31号は承認します。

日程第7 議案第32号の説明

- 平成22年度小学校児童、中学校生徒、幼稚園児及び教職員等の給
食費の額の決定について、本委員会の議決を求める。
- 別紙給食費一覧表で説明、額は昨年と同様です。
- アレルギー食で牛乳等の代替えは。
- 豆乳等で代替えしています。
- 小学校、中学校は生徒と先生で差があるが、それはなぜか。
- 児童生徒には牛乳や給食費へ町補助が入っていてその差です。
- 他に質問はありますか。
- 議決していいでしょうか。(全員賛同)
- 議案第32号は可決します。

協議事項

- ・平成22年度教育関係要覧について
22年度の教育関係要覧を作成中ですが、各課の重点事項と変更点

- について説明しますので、ご意見等をいただけたらと思います。
- 学校教育の新規のものについて説明。
- 社会教育の新規のものについて説明。
- 人権・同和教育の新規のものについて説明。
- 質問はありますか。
- 通級指導教室とは。
- 発達障がいの子が通常教室に通っている場合、その子ども達に勉強を教えるのではなく、まなび方のスキルを指導していくためのもので、これを八橋小学校に開設し、1学期は八橋小学校の子を対象に、2学期からは町内の学校からも、週に1、2回受け入れる予定です。本町も3年くらい前から要望していましたが、今年その加配が認められましたので通級を開設するものです。
- なぜ八橋小学校なのですか。
- なかなか、すべての学校ということにはなりませんので、教室もあり、他の学校からも通学しやすいところを選びました。
- 教育行政評価の重点項目について、議会等へ報告した時も、評価項目の見直しや重点化ということもありました。学校教育、社会教育、人権同和教育、食育の観点から1項目ずつあげております。教育委員会の活動や各課の活動、評価項目をあげています。ご意見がありましたらお願いします。
- 社会教育の河本家公開のところで、評価の目標に入館者数増とありますが、河本家保存会の活動として入館者数は問題にしているため、公開活動の充実というように変えてもらいたい。
- 事務局の考え方は、具体的に数字の出るものは活動の充実により、数字も伸びるのではないかという考え方です。
- 中身の充実としても逆に数字が減るものもあります、入館者数を増やそうと思えば、幅広いものを打ち出していくことになり、専門的な内容が扱えなくなる恐れがあります。
- 公開活動の充実とした場合それを何で計るかといえば、到達度と成果で数は到達度で、活動内容というのは成果であらわし2本立てで評価しようとするものです。
- 入館者数とすれば、どうしても数が多い、少ない、の評価になってしまい本筋から外れてしまう、どうしても数を入れるならここに上げなくても、いいのではないか。保存会としては、こだわりを持って公開時には企画しているので、その来られた方の感想等が重要であると思っていて、人数にはこだわりを持っていません。

- 今話を伺っていると、保存会の活動内容の問題だと思えますが、ここに載せているのは教育行政評価としての視点でここ入れたので、保存会のやっておられる活動と、行政評価という視点がなかなか相容れない部分でないかと思えます。
- 文化財の振興といった場合、琴浦町の中で河本家というのは大きな位置付けで、広く知ってもらふ意味でもここにのせてはと思います。
- 河本家の存在の意味をアピールする方法はいくらでもあるので、人数以外の評価が難しいのであれば、ここに無い方がいい。
- 教育行政の中の評価をどうしていくかということであって、保存会の評価は言われるとおりだと思いますが、行政は各分野の一つとして、文化財保護の代表をあげています。
- その気持ちは分かりますが、評価して人数が少なくなった時に、何をしているのかということになりはしないか。
- 評価は最初にも説明しましたが、目標に対する到達度とその成果で評価を行いますので、目標に到達できていなくても成果は上がるということはあると思います。
- 評価は誰が行うのか。
- 担当が最初の評価を行ない、それをもとに教育委員会に提案し、決定したものを議会、ホームページ等で公表しています。
- 保存会の公開の考え方は今くらいの数で、ゆっくり経過してもらふような、活動を目指しており、それを評価してもらふのはいいが、来館者数の評価では？
- 保存会の活動と教育委員会の文化財への来館者数は別の問題でありあまりこだわらずに、ただ教育委員会が数を把握しているというように、思えばいいのではないですか。
- 委員が言われるように、この評価を行政として来館者数を、把握するというように考えれば、保存会の活動の評価ではないということであればこのままでいいです。
- 他に連絡事項は
 - ・ 計画訪問の実施計画の説明。
 - ・ 小学校適正規模・配置審議会の答申について
- 昨日の議会の状況を教育長から報告してもらいます。
- 昨日議会の全員協議会で、答申について教育委員会はどう捉えているか説明せよということがありました。その内容は、答申の背景には、児童の減少する中であって、将来の適正規模と配置について、諮問しましたということ。この問題は大変重要な問題でもあり、答申を踏まえ関係各課と連

携し協議、検討を重ね年度内にその方向性を取りまとめ、まとめたものについては、議会、保護者、地域の方に説明し、関係者各位のご理解ご協力をいただきながら、時代を担う子ども達の教育環境づくりに取組んでいきたいと報告しています。また最新の児童数の推移、複式学級の説明。

議員の皆さんから出てきた話として、統合反対の声や、すべきという声がありました。その中で児童数の推移を出したところ、この資料は、統合ありきの資料かということがありましたが、これは児童数の現実の数字で審議会の中で議論された資料の一つとして説明しました。また統合した後の通学方法や時間、統合された後の記念碑的な、もの等いろいろな話が出ました。以上です。

- この問題に対するこれからの進め方ですが、委員一人一人の意見をしっかりと聞いた上で、それぞれの議論、意見を練っていく、そういう進め方をしていったらと思っておりますが、どうでしょうか。(賛意)
 - 審議会の各回概要を出していただけたらと思います。
 - 審議会の各回概要はすべて今日お配りします。
 - 意見陳述、議論
 - 《中 略》
 - 本日はこれで終了します、次回日程は。
 - 6月25日午後1時30分でございますか。全員賛同
 - 17時45分閉会
- 平成22年5月27日